

青森県の刺し子「南部菱刺し」に関する文献研究

川守田 礼子[†]

A literature survey on "Nambu Diamond Embroidery": Sashiko handwork of Aomori prefecture

Reiko KAWAMORITA[†]

ABSTRACT

"Nambu Diamond Embroidery" and "Koginsashi" are Sashiko handworks developed and inherited in Aomori prefecture. "Nambu Diamond Embroidery" should be reviewed as regional traditional culture and regional resource; however, there are fewer literature materials related to "Nambu Diamond Embroidery" as compared to "Koginsashi". In the present study, I collected and categorized the literature materials related to "Nambu Diamond Embroidery," analyzed the trend thereof, and considered themes for further study.

Key Words: Sashiko, literature review, Nambu Diamond Embroidery, Koginsashi, Aomori prefecture, regional traditional culture, regional resource

キーワード: 刺し子, 文献研究, 南部菱刺し, こぎん刺し, 青森県, 地域の伝統文化, 地域資源

1. はじめに

刺し子（刺子）とは、『日本国語大辞典』に「厚手の綿布を重ね合わせて、一面に細かく刺し縫いをしたもの」とある。刺すという技法は裁縫の基本であり、日本の衣生活における歴史が長い。日常着や仕事着の修理や補強・保温に用いられ、全国各地で行われてきた。なかでも、青森県西部の南部地方の南部菱刺し、東部の津軽地方のこぎん刺しは、織布の経糸の目数を数えて規則的に刺し、独特の模様を形成する点が特徴であり、ぐし縫いを基本とする他の刺し子技法と大きく異なっている。いずれも青森県伝

統工芸品に指定され、青森の地域性を反映した伝統文化として知られている。

こぎん刺しは、民藝運動において価値を見出されて以降、早くから産業としての基盤を築き、全国的な認知度が高く、製作・継承活動が活発であるが、南部菱刺しの認知度や活動状況はこれにやや劣る傾向にある。地域の伝統文化・地域資源として南部菱刺しの価値は見直されるべきであるが、こぎん刺しに比較して南部菱刺しに関する文献資料が少ないという問題点がよく指摘される。この点が新規製作者および研究者の障害となっていることは否めない。

本研究では、南部菱刺しに関する文献資料を収集・分類し、はたして本当にこぎん刺しに比べて文献資料が少ないのかを明らかにする。また、南部菱刺しに関する文献資料の傾向を概観し、今後の研究課題を検討する。

令和2年10月30日受付

令和3年3月3日受理（査読付き論文のみ記載）

[†] 感性デザイン学部創生デザイン学科・准教授

2. 研究方法

本研究での文献収集は、国立情報学研究所運営の学術情報データベースCiNiiを用い、「南部菱刺し・菱刺し・こぎん刺し・こぎん・刺し子」をキーワードとして検索した。さらに、科学研究費助成事業データベースおよび国立国会図書館サーチを用い、同様のキーワードで検索し、CiNiiには掲載されていない文献資料を収集した。著者情報収集は、research map研究者データベースおよび科学研究費助成事業データベースを用いた。

3. 結果

3.1 CiNii 論文検索

2020年10月現在で検索した結果は以下の通りであった。

(1) 「南部菱刺し・菱刺し」による検索

検索文献総数は、南部菱刺し7件、菱刺し10件、南部菱刺し(全文検索)1件、菱刺し(全文検索)4件の計22件であった。検索文献の中で、内容が重複するもの、名称のみの使用で内容が直接的に関連していないもの、趣味雑誌などの一般誌掲載で学術論文とは判断できないものを除外すると10件であった。

この10文献を発行年別に表1にまとめた。うち、こぎん刺し・こぎんによる検索文献と重複するものが5件含まれており、南部菱刺し・菱刺し単独検索文献は5件となる。発行年別推移では、1999年以前には2件しかなく、2000年以降漸増しているが、全般的に少ない。著者別では、川守田が4件と最も多く、次いで濱田が3件である。著者の専門分野としては、山本・山田・玉田・谷井が家政学・生活科学、濱田が日本美術史、日本近代工芸史、川守田・藤原がデザイン学、染織工芸学である。

(2) 「こぎん刺し・こぎん」による検索

検索文献総数は、こぎん刺し12件、コギン刺し1件、こぎん28件、こぎん刺し(全文検索)14件、こぎん刺し(全文検索)28件の計83件であった。検

索文献の中で、内容が重複するもの、名称のみの使用で内容が直接的に関連していないもの、趣味雑誌などの一般誌掲載で学術論文とは判断できないものを除外すると21件であった。なお、『民芸』『月刊染織α』など工芸・染織に関わる機関誌・専門雑誌に掲載されたものは含めた。21件のうち、南部菱刺し・菱刺しによる検索文献と重複するものが5件含まれており、こぎん刺し・こぎん単独検索文献は16件となる。南部菱刺し・菱刺しによる検索文献数に比較すると多い。

この16文献を発行年別に表2にまとめた。発行年別推移では、柳宗悦らによる民藝運動に関連した1950年代の古い文献2件を含み、1999年以前は4件と少ないが、こぎん刺しが早期から研究対象として着目されていた点が興味深い。2000年以降は12件と比較的発行年に偏りが無い。著者別では、羽賀が4件と最も多いが、多数の著者がいることが分かる。家政学・生活科学・服装学を専門とする著者が多いが、そのほかの著者の専門分野が多岐にわたっている。繊維工学の羽賀のほか、民俗学、デザイン学、染織工芸学、日本美術史、日本近代工芸史、農村女性史などである。こぎん刺し製作者や染織専門誌編集者などが含まれている点も特徴である。

(3) 「刺し子・刺子」による検索

検索文献総数は、刺し子53件、刺子9件であった。検索文献の中で、内容が重複するもの、(1)(2)の検索結果と重複するもの、内容が南部菱刺し・こぎん刺しに直接的に関連していないもの(他地域の刺し子を対象としたもの)、趣味雑誌などの一般誌掲載で学術論文とは判断できないものを除外すると0件であった。

(4) 「東北の布・東北の衣生活」による検索

検索文献総数は、東北の布2件、東北の衣生活1件であった。検索文献の中で、(1)(2)の検索結果と重複するもの、内容が南部菱刺し・こぎん刺しに直接的に関連していないものを除外すると、大高亨著「現代・未来の価値観から観る東北の布の調査：中間報告(2)」(金沢美術工芸大学紀要(60), 2016)の1件であった。著者の専門分野は美術史、染織デザインである。

(5) 科学研究費助成事業データベースによる検索

検索文献総数は、南部菱刺し1件、こぎん刺し・こぎん2件であった。重複するものを除外すると、こぎん刺しに関する「伝統技術が題材の科学教育を通じた地域のリーダーの育成」（研究代表者：羽賀敏雄，2007-2009）、南部菱刺し・こぎん刺しに関する「東北刺し子の文様特性に関する研究」（研究代表者：千葉 桂子，2011-2013）の2件であった。著者の専門分野は、前者は工学・科学教育、後者は家政学・衣服学である。

表1 南部菱刺し論文一覧（CiNii）

発行年月日	検索キーワード	著者	標題	収録刊行物(巻・号)
19820130	菱刺し こぎん刺し	山本 昭子 山田 いずみ	東北地方の刺し子の研究(その1)： 刺し子、こぎん刺し、菱刺しについて	生活科学 (13)
19970000	南部菱刺し (全文検索)	玉田 真紀	東北の衣生活で育まれた刺し子の文化(北の風土とデザイン)	デザイン学研究特集号5(1)
20021200	南部菱刺し こぎん	濱田 淑子	津軽こぎん・南部菱刺し —工芸美の発見から再興のみちすじ	青森県史研究 (7)
20030000	南部菱刺し こぎん	濱田 淑子	「津軽こぎん」と「南部菱刺し」	民族芸術(19)
20100000	南部菱刺し こぎん刺し	谷井 淑子	日本の仕事着「津軽こぎん刺しと南部菱刺し」 (ホイアン国際シンポジウム報告集)	昭和女子大学国際文化 研究所紀要(14)
20140000	南部菱刺し	濱田 淑子	民芸の心を学ぶ講演記録集：2012年(平成24年)：第140回日本民藝夏期学校青森会場	青森県民芸協会
20170331	南部菱刺し	川守田 礼子	「南部菱刺し」に関する調査 — 製作者の現状について	八戸工業大学地域産業 総合研究所紀要 (15)
20200303	南部菱刺し こぎん刺し	川守田 礼子	南部菱刺しの現状と課題 — 地域の伝統文化の継承と活性化に向けて —	八戸工業大学紀要 (39)
20200303	南部菱刺し	藤原 香菜 川守田 礼子	南部菱刺し「三巾前垂れ」の製作	八戸工業大学紀要 (39)
20200331	南部菱刺し	川守田 礼子	「南部菱刺し」に関する教育活動 (1)	八戸工業大学地域産業 総合研究所紀要 (18)

表2 こぎん刺し論文一覧（CiNii）

発行年月日	検索キーワード	著者	標題	収録刊行物(巻・号)
19560200	こぎん	村岡 景夫	津軽の「こぎん物語」	民芸 (38)
19570900	こぎん	中村 精	こぎんの復活 — 三宅喜久子さんの仕事	民芸 (57)
19630200	こぎん	中里 喜子	津軽地方のこぎんについて	東京家政大学研究紀要 (3)
19780700	こぎん刺し	岡野 都	こぎん刺し—比良野貞彦著「奥民図彙」におけるこぎん刺しの図とその周辺	学苑 (463)光業会昭和女子 大学近代文化研究所
20001100	こぎん	富山 弘基	伝統染織新紀行(7)農村芸術「津軽こぎん」の栄華と辛苦を秘める	月刊染織 α (236)
20011000	こぎん	羽賀 敏雄 宮川 英里	津軽の刺しこぎんの力学的性質	弘前大学教育学部紀要 (86)
20020300	こぎん刺し	鎌田 久子	現代デザインに通じる農村芸術の精華 津軽こぎん刺しの新たな創造	月刊染織 α (252)
20030000	こぎん刺し	谷井 淑子	日本の用と美「刺し子」「こぎん刺し」[含ベトナム語文](ホイアン国際シンポジウム記録)	昭和女子大学国際文化 研究所紀要(9)
20050000	こぎん	羽賀 敏雄	津軽の伝統刺し子「こぎん」を用いた衣服のあたかき学習	教科教育研究 23
20071010	こぎん	羽賀 敏雄 成田 貞治	津軽地方の伝統刺し織物「こぎん」の物性	繊維学会誌 63(10)
20080000	こぎん刺し (全文検索)	杉野 公子	刺し子—変化する伝統—	杉野服飾大学・杉野服飾大 学短期大学部紀要(7)
20100000	こぎん刺し (全文検索)	羽賀 敏雄 有内 則子	伝統技術を題材とした科学教育のための授業設計と実践	科学教育研究 34(3)
20150100	こぎん刺し	青木 あすみ	こぎん刺しの美の特性と今後に向けて	文化学園大学紀要・服 装学・造形学研究(46)
20170300	こぎん刺し	川守田 礼子 前田 奈々 我妻 しのぶ	南部菱織とこぎん刺しの現代的表現に向けての試み	八戸工業大学紀要(36)
20170600	コギン刺し	鳴瀬 麻子	「津軽コギン刺し」考	国府台：和洋女子大学文化資料 館・博物館学際報告 (21)
20190301	こぎん刺し	越田 夏帆 川守田 礼子	「こぎん刺し」製作者に向けたコミュニケーションツールの提案	八戸工業大学紀要 (38)

3.2 CiNii 図書・雑誌検索

2020年 10月現在で検索した結果は以下の通りであった。

(1) 「南部菱刺し・菱刺し」による検索

検索文献総数は、南部菱刺し2件、菱刺し8件、ひしざし1件、南部菱刺し(内容検索)4件、菱刺し(内容検索)17件、ひしざし(内容検索)1件の計33件であった。検索文献の中で、内容が重複するものを除外すると16件であった。この16文献を発行年別に表3にまとめた。うち、こぎん刺し・こぎんによる検索文献と重複するものが5件含まれている。

(2) 「こぎん刺し」による検索

検索文献総数は、こぎん刺し20件、こぎん刺し35件、こぎん刺し(内容検索)30件、こぎん刺し(内容検索)37件の計123件であった。検索文献の中で、内容が重複するものを除外すると47件であった。この47文献を発行年別に表4にまとめた。

(3) 「刺し子」による検索

検索文献総数は、64件であった。検索文献の中で、内容が重複するもの、(1)(2)の検索結果と重複するもの、内容が南部菱刺し・こぎん刺し研究に関連していないものを除外すると徳永幾久著「刺し子の研究：民俗服飾文化」（衣生活研究会,1989）の1件であった。

表3 南部菱刺し図書・雑誌一覧（CiNii）

発行年月日	検索キーワード	著者・編者	書名	発行所
19770000	菱刺し	田中忠三郎	南部つづれ菱刺し模様集	北の街社
19820000	菱刺し	八田愛子 鈴木亮子	菱刺しの技法：伝統の模様から現代作品まで (新技法シリーズ112)	美術出版社
19890000	菱刺し	八田愛子 鈴木亮子	菱刺し模様集	菱刺し模様集刊行会
19900400	ひしざし	八戸市博物館	ひしざし：南部女性の美	八戸市博物館
19970700	菱刺し (内容検索)		花ふきん78：すぐつかえる実物大刺し子パターン	日本ヴォーグ社
19990000	菱刺し こぎん刺し	青森市歴史民俗展示館「稽古館」	装う-生活着にみる先人の知恵と技：こぎん刺しと菱刺しの世界：企画展	青森市歴史民俗展示館 「稽古館」
20050400	菱刺し (内容検索)	共同通信社編集委員室	和紙とケータイ：ハイテクによみがえる伝統の技	成思社
20070000	菱刺し	西野 こよ	南部菱刺し	菱織館
20070600	菱刺し (内容検索)	田中陽子	砂ずりはの詩	主婦と生活社
20091100	菱刺し(内容検索) こぎん刺し	田中忠三郎	図説みちのく古布の世界	河出書房新社
20110700	菱刺し (内容検索)	伊藤佐智子	日本の染と織	ハイインターナショナル
20130302	菱刺し(内容検索) こぎん刺し	住友和子 村松寿満子	津軽こぎんと刺し子：はたらき着は美しい	LIXIL出版
20140300	菱刺し (内容検索)	文化出版局	糸と針book	文化学園文化出版局
20150000	南部菱刺し	倉茂洋美	はじめての菱刺し：伝統の刺し子を楽しむ図案帖	河出書房新社
20150900	菱刺し(内容検索) こぎん刺し	箕輪直子	置き織り大会：各種技法から、置き織りならではのコブ、伝承として残る地方の技法までを網羅	誠文堂新光社
20160000	菱刺し こぎん刺し		東北の刺し子：庄内刺し子・津軽こぎん刺し・南部菱刺し	日本ヴォーグ社

表4 こぎん刺し図書・雑誌一覧 (CiNii)

発行年月日	検索キーワード	著者・編者	書名	発行所
19430900	こぎん	村岡景夫	津軽のこぎん	日本民藝協会「工藝」編集室
19510600	こぎん	近藤善勝	こぎん刺繍	婦人画報社
19591100	こぎん	三宅喜久子	こぎん刺繍	雄鶏社
19650600	こぎん	講談社	こぎん刺繍 新訂版	講談社
19740000	こぎん	サントリー美術館	津軽こぎん：特別陳列	サントリー美術館
19741200	こぎん	横島直道	津軽こぎん	日本放送出版協
19760000	こぎん刺し	工藤得子	津軽こぎん刺し：基礎刺しから応用まで	主婦と生活社
19760400	こぎん	サントリー美術館	こぎんと紅型：サントリー美術館蔵品展	サントリー美術館
19760400	こぎん	木村操	こぎん：作品と図案集	婦人画報社
19761000	こぎん	青森県立郷土館	刺しこぎんと菱刺し：津軽・南部の仕事着	青森県立郷土館
19810100	こぎん刺し	前田セツ	津軽こぎん刺し	日本ヴォーグ社
19810200	こぎん	吉田英子 田淵暁	刺し子百葉	文化出版局
19810500	こぎん	三宅喜久子	こぎん	雄鶏社
19850300	こぎん		津軽の民芸：こぎん 悪戸焼 下川原土人形 津軽絵巻 津軽のこけし	弘前市立博物館
19850600	こぎん		北海道開拓記念館	北海道開拓記念館
19920000	こぎん		藍の美：筒描とこぎん：サントリー美術館所蔵	サントリー美術館
19920000	こぎん		津軽こぎん	日本ヴォーグ社 世界手芸の旅
19930600	こぎん	荻窪清子	こぎん・刺子	京都書院 京都書院美術双書、日本の染織
19950900	こぎん	国際基督教大学博物館 館長浅八郎記念館	刺子とこぎん	国際基督教大学博物館 浅八郎記念館
19970300	こぎん	弘前市立博物館	みちのくの造形刺しこぎん	弘前市立博物館
19971100	こぎん	中津靖子	さくら会創作こぎん	
20000100	こぎん刺し	高木裕子	こぎん刺し：ちょっと素敵なインテリア	マコー社
20070200	こぎん刺し (内容検索)	濱田球司ほか	民芸(あたらしい教科書, 11)	ブチグラフィック
20090200	こぎん刺し	鎌田久子	こぎん刺し：津軽に伝わるやさしい手仕事	雄鶏社
20090900	こぎん刺し	布芸展	こぎん刺しの本：津軽の民芸刺繍	文化出版局
20100400	こぎん刺し	鎌田久子	こぎん刺しの小ものたち	河出書房新社
20111000	こぎん刺し (内容検索)	小澤典代	日本の手仕事	主婦の友社
20111200	こぎん刺し (内容検索)	誠文堂新光社	世界のかわいい刺繍	誠文堂新光社
20120000	こぎん刺し	鎌田久子	25番刺繍までこぎん刺しを楽しむ	主婦の友社
20120400	こぎん刺し (内容検索)	丸山伸彦 道明三保子	産地別すぐわかる染め・織りの見わけ方 改訂版	東京美術
20121000	こぎん刺し (内容検索)	誠文堂新光社	アジアのかわいい刺繍	誠文堂新光社
20121200	こぎん	民俗民芸研究所	津軽・南部のさしこ着物：重要有形民俗文化財 田中忠三郎着物コレクション：2005年発行	総合博物館青森県立郷土館
20130900	こぎん刺し	高木裕子, 原 子芸一	こぎん刺し図案集118パターン：伝統のこぎん 刺し続	マコー社
20130900	こぎん刺し	弘前こぎん研 究所	津軽こぎん刺し：技法と図案集：基礎知識、基本と 応用技法、מודコ図案を収録した決定版	誠文堂新光社
20141000	こぎん刺し	小松崎裕夏	ちいさなこぎん刺し：かわいいうつセサリーと 小物	河出書房新社
20150200	こぎん刺し		かわいっこぎん刺し：基礎とやさしいレッスン	日本ヴォーグ社
20150500	こぎん刺し	高木裕子	こぎん刺し作品図案集 1(伝統のこぎん刺し)	マコー社
20151200	こぎん刺し	米山知歩	素材でかわいいこぎん刺し：日々の暮らしに寄 り添う	マイナビ出版
20160700	こぎん刺し (内容検索)	土橋のり子	大人のモダン刺繍：テキスタイルを描くように 刺す刺繍小物	グラフィック社
20161000	こぎん刺し		こぎん刺しのおしゃれ小物：きほんの伝統柄か ら作る	学研プラス
20170300	こぎん刺し	鎌田久子	津軽こぎん刺し：鎌田久子の世界：伝統と今 日の生活の調和を求めて	マガジランド
20170400	こぎん刺し		そらとぶこぎん第1-3号	津軽書房
20190300	こぎん刺し	佐藤陽子	津軽こぎん刺し図案集：高橋寛子天からのおく りもの	やまと印刷
20190900	こぎん刺し (内容検索)	君野倫子	日本人の暮らしを彩る和雜貨：日英対訳	IBCパブリッシング
20191100	こぎん刺し	石田舞子	古作こぎん刺し収集家・石田昭子のゆめみるこ ぎん	グレイブックス
20200400	こぎん刺し		そらとぶこぎん第4号	津軽書房

3.3 国立国会図書館蔵書検索

2020年10月現在で検索した結果は以下の通りであった。

(1) 「南部菱刺し・菱刺し」による検索

検索文献総数は、南部菱刺し20件、菱刺し55件の計75件であった。検索文献の中で、内容が重複するもの、CiNii検索文献と重複するものを除外すると14件であった。この14文献を発行年別に表5にまとめた。うち、「こぎん刺し・こぎん」による検索文献と重複するものが4件含まれている。

(2) 「こぎん刺し・こぎん」による検索

検索文献総数は、こぎん刺し100件、こぎん刺し142件の計242件であった。検索文献の中で、内容が重複するもの、内容が直接的に関連していないものを除外すると33件であった。この33文献を発行年別に表6にまとめた。

表5 南部菱刺し文献一覧 (国会図書館)

発行年月日	検索キーワード	著者・編者	書名	発行所・掲載誌
19811200	菱刺し	日本博物館協会	博物館研究	日本博物館協会 Museum studies 16(12)(163)
19820200	菱刺し	鈴木堯子	東奥文化 (53) 「菱刺しとこぎん考」	青森県文化財保護協会
19830000	菱刺し		農業用語大辞典	日本総合図書販売
19840000	菱刺し こぎん刺し	佐藤敏彦 金野静一	岩手の民俗散歩	熊谷印刷出版部
19850000	菱刺し	楢崎 邦江	ふるさと：南部の菱刺し作品集	第一法規出版
19890700	南部菱刺し		月刊染織α：染めと織りを楽しむ人の生活情報誌 (100)	染織と生活社
19910100	南部菱刺し		月刊染織α：染めと織りを楽しむ人の生活情報誌 (118)	染織と生活社
19980200	南部菱刺し		月刊れちおん青森 = Région Aomori monthly 20(231)	青森地域社会研究所
19990300	南部菱刺し		月刊れちおん青森 = Région Aomori monthly 20(244)	青森地域社会研究所
20010000	南部菱刺し こぎん刺し	青森県史編さん 文化財部会	青森県史 文化財編 美術工芸	青森県
20050000	菱刺し	特許庁	伝統的織維製品	特許庁 (標準技術集 平成17年度)
20100000	南部菱刺し こぎん刺し	青森県史編さん 民俗部会	青森県史 民俗編 資料南部	青森県
20110000	菱刺し		資料日本の伝統産業 物産編	日本図書センター
20150000	菱刺し こぎん刺し		津軽・南部のさしこ着物 (博物資料)	

表6 こぎん刺し文献一覧 (国会図書館)

発行年月日	検索キーワード	著者・編者	書名	発行所
19320000	こぎん	青森県女子師範学校	青森県郷土誌料集 第1輯	青森県女子師範学校
19380000	こぎん	青森県中央図書館	青森県郷土誌料集 第2輯	青森県中央図書館
19740000	こぎん	青森北東ロータリークラブ	青森県の民芸を語る	
19770000	こぎん	藤原元男, 児玉幸多 伊本繁一	日本の名産事典	東洋経済新報社
19790000	こぎん	鈴木 克彦	考古風土記 第4号	
19940000	こぎん	青森市史編さん 委員会	青森市の歴史	青森市
19980400	こぎん刺し		月刊れちおん青森 = Région Aomori monthly 20(233)	青森地域社会研究所
20010000	こぎん刺し	由井正子	津軽こぎん刺し：古作模倣図案集	樺
20060000	こぎん刺し	長谷川成一	図説弘前・黒石・中津津の歴史	郷土出版社 (青森県の歴史シリーズ)
20090000	こぎん刺し	高木裕子	こぎん刺し図案集165パターン：伝統のこぎん刺し	マコー社

発行年月日	検索キーワード	著者・編者	書名	発行所
20090900	こぎん刺し	高木裕子	こぎん刺し図案集165パターン：伝統のこぎん刺し 続	マコー社
20110000	こぎん刺し	鎌田久子	はじめてのこぎん刺し：幾何学模様美しい袋物とおももの	日本ヴォーグ社
20120000	こぎん刺し	写真記録刊行会	日本の美：写真記録 東北 1	日本ブックエース
20120000	こぎん刺し	繊維総合辞典編纂委員会	新・繊維総合辞典	繊維新聞社
20120000	こぎん刺し	丸山伸彦 道明三保子	すぐわかる「産地別」染め・織りの見分け方	東京美術
20130000	こぎん刺し		津軽学 8号	
20130000	こぎん刺し		かんたん、かわいいこぎん刺しのこもの	ブティック社（レディブティックシリーズ）
20130000	こぎん刺し	中江克己	日本の伝統染織事典	東京堂出版
20140000	こぎん刺し		津軽学 9号	
20150000	こぎん刺し		かんたん、楽しい、針仕事こぎん刺しのこもの	ブティック社（レディブティックシリーズ）
20150000	こぎん刺し		人の刺しゅうLife：クロスステッチ、白糸刺しゆう、こぎん刺し	日本ヴォーグ社
20150000	こぎん刺し		伝統模様とアレンジ模様で楽しむこぎん刺しのかわいいこもの	ブティック社（レディブティックシリーズ）
20150100	こぎん刺し		こぎん刺しのかわいいこもの：伝統模様とアレンジ模様で楽しむ	ブティック社（レディブティックシリーズ）
20150700	こぎん刺し		こぎん刺しのこもの：くるみボタン、がま口、ホーチ、コースター、ポットマット…	ブティック社（レディブティックシリーズ）
20160000	こぎん刺し		こぎん刺しのおしゃれ小物：きほんの伝統柄から作る	学研プラス
20160000	こぎん刺し	楠木友子	こぎん刺し模様あそび：伝統柄×かわいいオリジナル図案：こぎん刺しの基本レッスンつき	日本ヴォーグ社
20170000	こぎん刺し	小野和子	民謡一次伝承者による語り記録および民謡実演会報告書	宮城県ミュージアム復興事業実行委員会
20180000	こぎん刺し		北風風がかわいいわい小なこぎん刺し：こぎん刺しの基礎テクニックを写真で解説！	ブティック社（レディブティックシリーズ）
20190000	こぎん刺し	山端家昌	コギン：青森市所蔵古作こぎん刺し着物写真集1ウラ	エイティワールド
20200000	こぎん刺し	山端家昌	コギン図案集 1	エイティワールド
20200000	こぎん刺し	山端家昌	コギン：青森市所蔵古作こぎん刺し着物写真集3ウラ	エイティワールド
20200000	こぎん刺し	山端家昌	コギン：青森市所蔵古作こぎん刺し着物写真集3オモ子	エイティワールド
20200000	こぎん刺し	日本文芸社	連続模様で楽しむはじめてのこぎん刺し：ひとつでも、組み合わせでもひろがるデザイン	日本文芸社

4. 考察

以上の検索データに基づき、考察を行う。

文献資料総数を比較したものを表7に示す。表中〔 〕には、各データベース検索合計数における割合(%)を示した。南部菱刺しの文献資料総数は全体の21%と、こぎん刺し69%に比べ少ない。次に、表12を研究分野別に分類した文献資料数を表8に示した。論文文献数は南部菱刺し5件・こぎん刺し16件・両方5件、計25件と全体的に多くはないが、著者および研究分野が、南部菱刺しに比べてこぎん刺しの方がやや幅広い。

表7 文献資料総数比較 [各検索合計数における割合(%)]

検索キーワード	南部菱刺し(菱刺し)	こぎん刺し(こぎん・コギン刺し)	両方	計
CiNii論文検索	5 〔19%〕	16 〔62%〕	5 〔19%〕	26
CiNii図書雑誌検索	11 〔17%〕	47 〔75%〕	5 〔8%〕	63
国立国会図書館蔵書検索	14 〔27%〕	33 〔65%〕	4 〔8%〕	51
総数	30 〔21%〕	96 〔69%〕	14 〔10%〕	140

表8 研究分野別論文文献数 [総数における割合(%)]

研究分野	南部菱刺し	こぎん刺し	両方	計
家政・生活	1	2	1	4
歴史・民俗	1	2	2	5
工芸・デザイン	2	7	1	10
科学・工学	0	3	0	3
教育	1	1	0	2
不明	0	1	1	2
総数	5	16	5	26

こぎん刺しにあつて南部菱刺しにない研究は科学・工学分野で、論文3件とも著者は羽賀敏雄である。羽賀は、1987年から2006年まで弘前大学教育学部に在籍した繊維工学研究者である。有限会社弘前こぎん研究所三代目所長、成田貞次との共著では、こぎん刺しの表面特性、摩耗強度、通気性、保温性など力学的性質について測定を行った（羽賀・成田,2007）。刺し子の物性に関わる研究は、保温性、補強性といった刺し子本来の効果を科学的に検証する点で極めて意義がある。また羽賀は教育分野の研究として、科学教育の学習教材にこぎん刺しを活用する授業実践を行っている（羽賀,2005、羽賀・有内,2010）。北東北地域の総合大学である弘前大学は、平成18（2006）年9月に弘前市と「弘前大学と弘前市の連携に関する協定」を締結するなど周辺市町村との連携を深め、地域活性化の中核的拠点として地域課題解決につながる研究を推進している。羽賀らのこぎん刺しに関する研究はこの流れにつながるものと思われるが、残念ながら羽賀が四国大学に移って以降、弘前大学においてこぎん刺し論文は見られない。

工芸学、デザイン学分野の論文は、他の分野に比べ多く内容は多岐にわたる。南部菱刺し・こぎん刺しの美的特徴として幾何学模様を取り上げている論文は多いが、幾何学模様の図学的分析を行っている研究は少数である。千葉桂子の研究（千葉,2014）では、南部菱刺し・こぎん刺し模様の幾何学的特性を明らかにする目的で、上下・左右および斜め45度の対称性に注目し、菱形模様の数学的分類を試みている点が新しい。

幾何学模様の図学的分析の先駆者は、高橋一智(1904-1983)である。『青森県史 文化財編 美術工芸』によれば、高橋は木村産業研究所(後の有限会社青森ホームスパン、弘前こぎん研究所)の運営に携わり、郷土の工芸振興に尽力した。こぎん刺しの図案収集および製図を行っていた高橋は、『東奥日報』連載(1963年7月14日～1964年5月31日の42回)の「みちのくの造形・刺しこぎん編」において、こぎん刺しの刺し技法および模様形成法に関する詳細な分析を展開した。このような緻密な模様研究は以後ほぼ見られないため、今後は図学的研究による模様特性の解明が必要である。

南部菱刺し復興に尽力した小井川潤次郎が、「みちのくの造形・菱刺し編」を同紙『東奥日報』に連載(1962年6月27日～1963年3月24日の31回)しているが、収集した南部菱刺しの模様の意味や名称の由来などが随筆風に記述されており、高橋のような分析的 content とは異なる。これを踏まえ、拙著(藤原・川守田, 2019)では、南部菱刺しの伝統的な模様配置や展開方法に変化を加えた三巾前垂れの製作を通して、南部菱刺し特有の偶数率による模様形成の法則について考察を行った。しかし、明確な解明には至っていないため、今後も検討を継続する予定である。

歴史学、民俗学分野の論文に関しては、青森県史編さん文化財部会による青森県の染織工芸調査が1996年から約10年間実施され、その成果が『青森県史文化財編 美術工芸』にまとめられており、南部菱刺し・こぎん刺しの概説および発生から復興までの歴史に関してはほぼ網羅している。また、徳永幾久著『刺し子の研究: 民俗服飾文化』は南部菱刺し・こぎん刺しを含む全国の刺し子文化について扱っており、衣生活史に関しても非常に詳しく記述されている。

古い刺し子着物に関する民俗学的調査は、「重要有形民俗文化財田中忠三郎着物コレクション 津軽・南部のさしこ着物」「神奈川大学日本常民文化研究所調査報告第11集 仕事着-東日本編-」などの田中忠三郎による調査が詳しい。しかし、地元に残存している南部菱刺し古作調

査はまだ途上にあり、非公開の所蔵品なども多い。劣化が進む前の実物調査やアーカイブ化などが喫緊の課題である。

こぎん刺しでは現在、山端らが古作こぎん刺し着物の写真集および図案集の製作に取り組んでいる。2006年閉館した青森市歴史民俗展示館「稽古館」所蔵のコレクション(現在は青森市所蔵)を青森市出身のカメラマンが高解像度で撮影した。着物の裏側のみの写真集も製作しており、刺し糸の渡り方など刺し技法の詳細が分かる。また、図案集は、総刺し図案のデザイン構造を解明するため、模様パーツの組み合わせ過程も掲載している点が珍しい。南部菱刺しに関しても、青森県三沢市教育委員会による「重要有形民俗文化財 南部のさしこ仕事着コレクション 図案集」刊行など地元での取り組みも徐々に始まっている。このようなまとまった画像コンテンツがあると、図学的分析やデザイン研究の有効な資料となろう。

次に、文献資料の年代別発行数の推移について見る。表1～6の年代別分布を表9、図1に示した。南部菱刺し、こぎん刺し両方に重複する文献は、それぞれの文献資料数に加えて表示した。これを見ると、こぎん刺しの傾向として、1940～1950年代より文献資料が見られ早期から関心が寄せられていること、2010年以降の図書・雑誌発行数の増加から全国的な人気が高まったことが分かる。その理由について次のように考察した。

1940～1950年代よりこぎん刺しの文献資料が見られる背景には、柳宗悦の民藝運動の影響が大きい。また、1932年、産業化の母体となる財団法人木村産業研究所が弘前市に設立されたことも重要である。『青森県史 文化財編 美術工芸』によれば、1935年、木村産業研究所を訪問した柳がこぎん刺し復興を指示し、それを受けて古作こぎん着物の収集と復興に向けての活動が始まったとある。研究所の運営に携わった大川亮、高橋一智、横島直道らがこぎん刺し振興に向けた研究を進めた。1943年、村岡景夫が最初のこぎん刺し研究書を出版して以降、高橋一智による1962～1963年の新聞連載「みちのくの造形 刺しこぎ

ん編」、1974年の横島直道『津軽こぎん』など、こぎん刺しに特化した論考が次々にまとめられた。また、三宅喜久子・工藤得子・前田セツら製作者が、早くから技法手引書や作品集を書籍化した。継続的に発行されたこれらの専門書が核となり、その後の継承を支えたものと思われる。

南部菱刺しの場合、1940～1970年の間、このような研究書・専門書がない。製作者の記録もほとんど残っていない。後進が参照できる文献資料がない、もしくは一冊にまとめられておらず参照しにくいという点が、南部菱刺し研究の遅れた要因の一つと考えられる。なお、最も古い南部菱刺し専門書は、1977年に発行された民俗学者・収集家の田中忠三郎著『南部つづれ菱刺し模様集』である。製作者の著作物には、八田愛子・鈴木堯子著の1982年『菱刺しの技法』と1989年『菱刺し模様集』、および、2007年の西野こよ著『南部菱刺し』などがある。

2010年以降の図書・雑誌発行数の増加に関しては、まだ調査検証が十分ではないが、2007年にグラフィックデザイナーの山端家昌が津軽こぎん刺しサイトkogin.netをオープンしたこと、2009年東京浅草にアミューズミュージアムが開館し田中忠三郎コレクションを中心に東京エリアでの展示が開始されたことなどが契機の一つとなって、全国的な知名度向上に貢献したと思われる。この時期に全国でカルチャー教室やワークショップイベントなどが増加している。また、東松陽子・福田里香によるプロジェクト、布芸展著『こぎん刺しの本』が2009年に出版された。布芸展は「民藝の布物を、ファッションに変える」をコンセプトに、伝統的刺し子の魅力を新しい視点からとらえ、若い世代への訴求力のあるデザイン性の高い商品を発表して話題となった。こぎん刺しの現代的な新しい展開を生んだプロジェクトの一つである。2010年以降発行されたこぎん刺し本の書名に「かわいい」「おしゃれ」が頻出するのは、このような取り組みの影響と思われる。

表9 文献資料の年代別発行数

年代	南部菱刺し				こぎん刺し			
	CiNii論文	CiNii図書 雑誌	国会 図書館	合計	CiNii論文	CiNii図書 雑誌	国会 図書館	合計
1930	0	0	0	0	0	0	2	2
1940	0	0	0	0	0	1	0	1
1950	0	0	0	0	2	2	0	4
1960	0	0	0	0	1	1	0	2
1970	0	1	0	1	1	6	3	10
1980	1	2	6	9	1	5	1	7
1990	2	3	3	8	0	7	2	9
2000	2	4	2	8	9	5	5	19
2010	3	6	3	12	6	23	20	49
2020	4	0	0	4	1	1	4	6

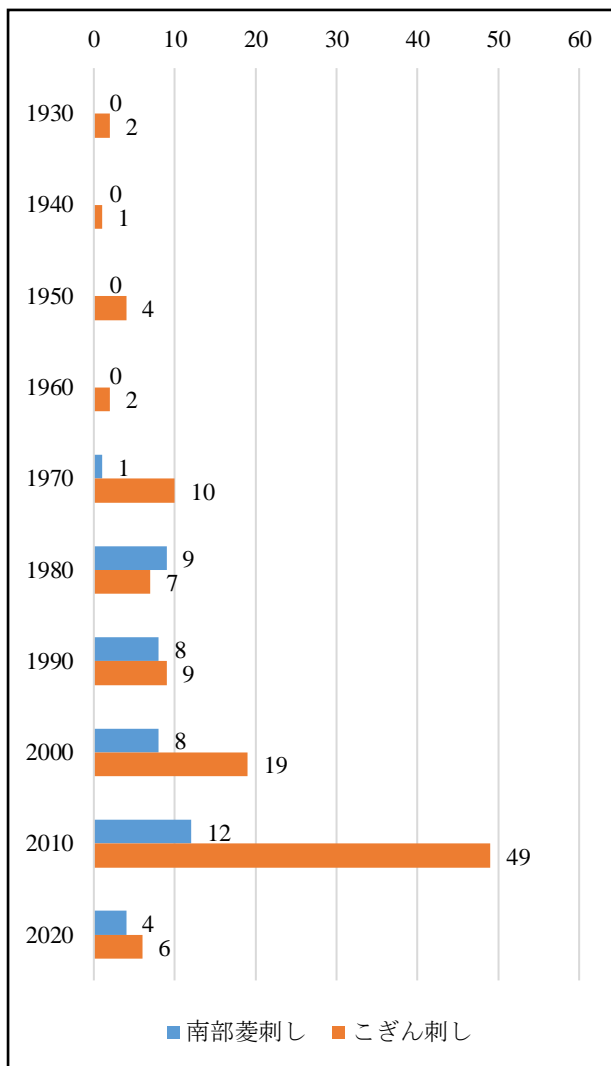


図1 年代別発行数推移

最後に、本研究と並行して実施した青森県内図書館・博物館・資料館の所蔵文献資料収集について触れておく。青森県内の諸施設には、郷土資料として、本研究方法では収集しきれない文献資料が数多く存在することが明らかになった。青森県文化財保護協会『東奥文化』・八戸歴史研究会『八戸地域史』などの地元発行の雑誌、地元新聞社の記事や発行物、県内展示会図録などである。また、南部菱刺し・こぎん刺しの復興を牽引した小井川潤次郎、田中忠三郎、高橋一智、相馬貞三、大川亮、山村精、松野武雄、渋沢敬三、杉本行雄らの著作物も確認する必要がある。さらに、青森県の農業史、女性史、民俗史などにも関連記事がある。継続的な文献資料収集の成果は次稿で報告する。

5. おわりに

以上、CiNii等のキーワード検索により収集した南部菱刺し文献資料データに基づき、その傾向を津軽のこぎん刺しと比較しながら考察した。しかし、南部菱刺しに関する文献資料を完全には収集できていないため、今後も収集活動を継続し、南部菱刺しに関する研究文献データベースの構築を目指す。今後はインターネットサイトなどWeb文献の収集も検討する必要がある。

本研究により、南部菱刺しを取り巻く文献資料の傾向が把握でき、今後の研究課題が明確になった。各収集者・製作者の元にある古作および現代作品のデジタルアーカイブ化に関する調査研究や、それら収集作品に対する模様・デザイン分析および染料・地布・刺し糸の物性調査など、これまで南部菱刺し研究において着手されていなかった研究の必要性が明確になった。このような研究は、地域の染織品の価値の具体化や体系化につながるはずである。

また、前稿(川守田, 2020)において提案したとおり、南部菱刺し製作の技法習得や継承にかかわる伝統的知識(知識、ノウハウ、スキルなど)の調査研究が急務である。製作者の高齢化

が問題となってきたことを受け、伝統的知識の集約を目指した製作者対象の聴き取り調査に早急に着手する予定である。

参考文献

- 1) 北原保雄ほか：日本国語大辞典，小学館，2000～2002
- 2) 青森県庁商工労働部地域産業課「青森県の伝統工芸品」：
https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/shoko/chiikisangyo/dento-kogei_aomori.html（最終アクセス：2020年10月30日）
- 3) 柳宗悦：手仕事の日本，岩波書店，1985.
- 4) CiNii：<https://ci.nii.ac.jp/>（最終アクセス：2020年10月30日）
- 5) research map 研究者検索：<https://researchmap.jp/researchers>（最終アクセス：2020年10月30日）
- 6) 科学研究費助成事業データベース 研究課題を探す：
<https://kaken.nii.ac.jp/ja/index/>（最終アクセス：2020年10月30日）
- 7) 科学研究費助成事業データベース 研究者を探す：
<https://nrid.nii.ac.jp/ja/index/>（最終アクセス：2020年10月30日）
- 8) 国立国会図書館サーチ：<https://iss.ndl.go.jp/>（最終アクセス：2020年10月30日）
- 9) 羽賀敏雄，成田貞次：津軽地方の伝統刺し織物「こぎん」の物性，繊維学会誌，63(10)，pp.241-245，2007.
- 10) 羽賀 敏雄：津軽の伝統刺し子「こぎん」を用いた衣服のあたたかさの学習-弘前大学教育学部生涯教育課程地域生活専攻の教育プログラムから(教科教育学の新たな展開)，教科教育学研究，23，pp.17-25，2005.
- 11) 羽賀 敏雄，有内 則子：伝統技術を題材とした科学教育のための授業設計と実践，科学教育研究，34(3)，pp.268-279，2010.
- 12) 弘前大学 地方自治体等との連携：
<https://www.hirosaki-u.ac.jp/research/chiikirenkei.html>（最終アクセス：2021年1月22日）
- 13) 弘前大学 研究・産学連携：
<https://www.hirosaki-u.ac.jp/research.html>（最終アクセス：2021年1月22日）
- 14) 千葉 桂子：東北刺し子の文様特性に関する研究，科学研究費助成事業データベース 研究成果報告書，
<https://kaken.nii.ac.jp/file/KAKENHI-PROJECT-23500872/23500872seika.pdf>（最終アクセス：2021年1月22日）
- 15) 青森県史編さん文化財部会：青森県史文化財編 美術工

- 芸, 青森県, 2010.
- 16) 高橋一智: 郷土資料集 みちのくの造形 刺しこぎん [1] 基礎模様・単位の形成法, 弘前市立博物館, 1996
- 17) 藤原香菜, 川守田礼子: 南部菱刺し「三巾前垂れ」の製作, 八戸工業大学紀要, 39巻, pp. 101-104
- 18) 徳永幾久: 刺し子の研究: 民俗服飾文化, 衣生活研究会, 1989.
- 19) 民俗民具研究所編: 津軽・南部のさしこ着物: 重要有形民俗文化財 田中忠三郎着物コレクション: 786点オールカタログ, 総合博物館青森県立郷土館, 2012.
- 20) 神奈川大学日本常民文化研究所編: 仕事着—東日本編— (神奈川大学日本常民文化研究所調査報告, 第11集), 平凡社, 1986.
- 21) 青森県三沢市教育委員会生涯学習課編: 重要有形民俗文化財 南部のさしこ仕事着コレクション図案集, 青森県三沢市教育委員会, 2017.
- 22) 山端家昌: 青森市所蔵 古作こぎん刺し着物 写真集 コギン (1) オモテ, イエティワールド, 2019.
- 23) 山端家昌: 青森市所蔵 古作こぎん刺し着物 写真集 コギン (1) ウラ, イエティワールド, 2019.
- 24) 山端家昌: 青森市所蔵 古作こぎん刺し着物 図案集 コギン図案集 (1) 総刺し・モドコ・流れの伝統デザイン, イエティワールド, 2020.
- 25) 村岡景夫: 津軽のこぎん, 日本民藝協會「工藝」編集室, 1943.
- 26) 横島直道: 津軽こぎん, 日本放送出版協会, 1974.
- 27) 三宅喜久子: こぎん刺繍, 雄鶏社, 1951.
- 28) 工藤得子: 津軽こぎん刺し: 基礎刺しから応用まで, 主婦と生活社, 1976.
- 29) 前田セツ: 津軽こぎん刺し, 日本ヴォーグ社, 1981.
- 30) 田中忠三郎: 南部つづれ菱刺し模様集, 北の街社, 1977.
- 31) 八田愛子・鈴木堯子: 菱刺しの技法 伝統の模様から現代作品まで (新技法シリーズ112), 美術出版社, 1982.
- 32) 八田愛子・鈴木堯子: 菱刺し模様集, 菱刺し模様集刊行会, 1989.
- 33) 西野こよ: 南部菱刺し, 菱繡館, 2007.
- 34) koginbank: <https://koginbank.com/> (最終アクセス: 2021年1月22日)
- 35) アミューズミュージアム: <http://amusemuseum.com/> (最終アクセス: 2021年1月22日)
- 36) 布芸展: こぎん刺しの本: 津軽の民芸刺繍, 文化出版局, 2009.
- 37) 川守田礼子: 南部菱刺しの現状と課題—地域の伝統文化の継承と活性化に向けて—, 八戸工業大学紀要, 39巻, pp. 11-22, 2020.

要 旨

「南部菱刺し」と「こぎん刺し」は青森県で発展した刺し子である。「南部菱刺し」は地域の伝統文化・地域資源として見直されるべきであるが、「こぎん刺し」に比べ「南部菱刺し」に関する文献資料が少ないという問題点がある。本研究では、「南部菱刺し」に関する文献資料を収集・分類し、その傾向を分析し、今後の研究課題を検討した。

キーワード: 刺し子, 文献研究, 南部菱刺し, こぎん刺し, 青森県, 地域の伝統文化, 地域資源